



質実剛健・文武両道

校章は、桑葉に生糸を配したものである。桑樹は、生命力が旺盛にして強靱、生糸は、純粋無垢、優美高尚の象徴である。即ち、本校の礎が堅固であり、絶えず進展、躍動する青春を意味する。2016年11月30日 No.20(11月号) 岩手県立千厩高等学校校報(発行者 校長)

理想の翼

岩手県立千厩高等学校

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/sen-h/>
〒029-0855
岩手県一関市千厩町千厩字石堂 45-2
事務室 TEL 0191-53-2091
FAX 0191-52-3170
平成28年11月30日発行 No20(11月号)

祝 2016年いわて高校生小論文コンクール 佳作

- ・表彰：平成28年10月29日(土) [岩手県立大学主催]
- ・テーマ：自然 [応募総数84編]
- ・受賞：佳作 糸谷裕太郎くん [最優秀賞1優秀賞2佳作6]



平成28年度 千仰祭

- ・期 日：平成28年10月16日(日)
- ・テーマ：創史相愛
- ・副 題：感動は一瞬・思い出は一生

今回の千仰祭は、希望郷いわて国体終了後間もないこともあり、開催を危惧する声もありましたが、生徒1人ひとりが短い準備時間を有効に活用することで、すばらしい文化祭を創り上げることができました。ここにPTAの皆様をはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

地方開発と自然

千厩高等学校3年 糸谷 裕太郎 くん

地球温暖化が深刻化することについて

我々は、二酸化炭素を吸収する森林が減少したことが大きな原因だと考えてはいないだろうか。確かに世界的に見ると森林面積は減少し続けている。しかし日本の結果は異なっており、豊林水産産林野庁の調査によると、四十年間で面積の増減はほとんどないのだという。この理由は、戦後植えられた人工林が成長し、森林蓄積が増えたからだ。それにも関わらず、これらの資源を利用していないことが問題となっている。実際に私の自宅周辺は人工林で囲まれているが、所有者も分からない。今後森林は荒廃していくと予想される。荒廃した森林は様々な災害を助長するだけでなく、二酸化炭素を吸収する能力が低下するので、地球温暖化対策を率先して行う日本にとって見過ごすことができない課題であろう。以上を踏まえ、森林を適度に伐採・利用し植林する循環の仕組みを整えることは不可欠だ。私たちが特に地方において不十分だと考えている。なぜなら、林業に従事する方の高齢化や、担い手である若者の都市部への流出によって管理・運営していくことが難しくなっているからだ。よって私は、地方開発と森林という視点から自然に注目し考えていきたい。

佳作
糸谷 裕太郎 様
あなたの作品は「2016年いわて高校生小論文コンクール」において頭書のどおり優秀な評価を頂きましたよってこれを表彰します
平成28年10月29日
岩手県立大学
学長 鈴木 厚人 氏

2016年いわて高校生小論文コンクール

岩手県立大学主催の小論文コンクール名以下の募集で今年も開催します
あなたの考えを自由に書かせてください

◆テーマ：「自然」

作品募集

千仰祭

10月16日(日) 公開 9:30~15:00

テーマ
創史相愛 ~感動は一瞬・思い出は一生~
岩手県立千厩高等学校



千仰祭

模擬店	運動会館	ステージ発表	一般公開
9:30~11:00 11:30~15:00	9:30~11:00 11:30~15:00	10:00~11:30 11:30~15:00	10月16日(日) 9:30~14:30
10:00~11:00 11:30~15:00	10:00~11:00 11:30~15:00	10:00~11:00 11:30~15:00	10:00~11:00 11:30~15:00
10:00~11:00 11:30~15:00	10:00~11:00 11:30~15:00	10:00~11:00 11:30~15:00	10:00~11:00 11:30~15:00

2016.10.16(日) 9:30~15:00
岩手県立千厩高等学校

岩手県立千厩高等学校 高総体新人戦での主な活躍 等

ソフトボール部 (女子)

【第63回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技(2016/10/14~17)】 **第3位**
【第22回岩手県高等学校新人選抜ソフトボール大会(2016/10/29~30)】 **第3位**



ボクシング部

【第57回岩手県高等学校新人大会ボクシング競技(2016/10/28~30)】
・演技ライト級 **第2位** 菅原 光二
・演技ライトウェルター級 **第1位** 小山 瞬
・演技フライ級 **第3位** 及川 雄太



卓球部

【第62回岩手県高等学校新人大会卓球競技(2016/11/4~6)】
・女子団体 **ベスト8**
1回戦 千厩3-0盛岡3 2回戦千厩3-0種市
3回戦 千厩3-2金ケ崎 4回戦千厩0-3盛市



バドミントン部

【第62回岩手県高等学校新人大会バドミントン競技(2016/11/3~5)】
・男子団体 **ベスト16**
1回戦 不戦勝 2回戦 千厩3-1盛岡商
3回戦 千厩0-3水沢一



ソフトテニス部(男女)

【第61回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技(2016/10/12~14)】
・男子団体 **ベスト16**(選抜ｲﾝﾄﾞ7出場)
・女子個人 **ベスト32**(県ｲﾝﾄﾞ7出場)
→①佐藤奈々子・古川奈々組 ②尾形志穂梨・菅原叶組



柔道部

2016/10/28~29
【第61回岩手県高等学校新人大会柔道競技】
・個人戦2年男子 佐藤創太 81kg級 **ベスト8**
皆川百太郎 60kg級 **ベスト16**
小野寺龍太郎 90kg級 **ベスト16**
三浦翔龍 100超級 **ベスト8**
・個人戦1年女子 千葉彩花 52kg級 **ベスト16**



みんなで語ろう！一関の未来予想図

- ・日 時：平成 28 年 11 月 26 日 (土) 13 時～15 時
- ・会 場：一関市総合体育館(ユードーム)サブアリーナ
- ・参加者：31 人 (本校から 3 年生の三浦快嶺さん)

みんなで語ろう！一関の未来予想図
～未来を創るトークショー～

市の未来を語る市民参加型イベント「みんなで語ろう！一関の未来予想図～未来を創るトークショー～」は、11月26日(土)、同市狐狸寺の市総合体育館で開かれました。フリーアウンサー生島ヒロシさんの司会進行で、10～70代の男女31人が市の合併により変わってきた地域の魅力について語り合い、これからのまちづくりへ夢を話しました。

千厩町代表の1人として本校の三浦快嶺さんが出演しました。「地域自慢をしてください」というお題には、「千厩夜市」とフリーアウンサー生島ヒロシさんとのトークを物怖じせず楽しんでいました。また、「合併して変わったと感じること」というお題には、「本庁の指示がないと消防団が活動できないことがある」と指摘しました。これに対しコメントとして参加した市の職員は、「デメリットは抱えているが、まちづくりも地域防災も広い範囲で協力し合い、困難を乗り越えられるようにしていきたい」と話す一幕もありました。今後とも本校生は、まちづくりを前向きに考え、一関市が魅力あるまちになるよう努力してまいります。

※【左記ポスターは一関市の許可を得て掲載】

一関市と一関ケーブルネットワーク(ICC N、同市八幡町、山岸学代表取締役社長)が主催する市民参加型イベント「みんなで語ろう！一関の未来予想図～未来を創るトークショー」は、11月26日(土)、同市狐狸寺の市総合体育館で開かれました。フリーアウンサー生島ヒロシさんの司会進行で、10～70代の男女31人が市の合併により変わってきた地域の魅力について語り合い、これからのまちづくりへ夢を話しました。

千厩町代表の1人として本校の三浦快嶺さんが出演しました。「地域自慢をしてください」というお題には、「千厩夜市」とフリーアウンサー生島ヒロシさんとのトークを物怖じせず楽しんでいました。また、「合併して変わったと感じること」というお題には、「本庁の指示がないと消防団が活動できないことがある」と指摘しました。これに対しコメントとして参加した市の職員は、「デメリットは抱えているが、まちづくりも地域防災も広い範囲で協力し合い、困難を乗り越えられるようにしていきたい」と話す一幕もありました。今後とも本校生は、まちづくりを前向きに考え、一関市が魅力あるまちになるよう努力してまいります。

※【左記ポスターは一関市の許可を得て掲載】

いちのせきサイエンスカフェ (ILCの実現に向けて)

- ・日 時：平成 28 年 11 月 25 日 (金) 18 時～20 時
- ・会 場：千厩酒のくら交流施設 (主催：一関市)
- ・参加者：本校教職員 3 人・2 学年生徒 6 人 (計 30 余名)

いちのせきサイエンスカフェ
ILCの実現に向けて

11/25(金) 18:00～20:00
千厩酒のくら交流施設

講演者：佐賀 智行 氏

「海を感じるドレス」の発表者：渡邊 千尋 さん



主催：一関市市長官室 ILC 推進課
【左記ポスターは一関市の許可を得て掲載】

第3回いちのせきサイエンスカフェが11月25日(金)千厩酒のくら交流施設を会場に行われました。「ILCの実現に向けて」と題し、講師として東北大学大学院理学研究科准教授佐賀智行氏が招かれました。本校からは教職員3人、生徒6人が参加しました。講演では易しいことばとイメージが用いられ、大変分かりやすい説明でした。また、参加者の質問にも丁寧に答えていただきました。サイエンスカフェ終了後、本校の生徒たちが佐賀先生に質問している姿がとても印象的でした。何事にも意欲をもってトライすることが次のステップに繋がります。頑張れ千高生!!

祝 第 39 回 岩手県高等学校総合文化祭「書道部門」入賞

- ・期 日：平成 28 年 11 月 1 日 (火)～7 日 (月)
- ・会 場：岩手県民会館 展示室
- ・入 賞：優秀賞 1 秀作賞 6 入選 3

今年もまた多くの作品が入賞し展示されました。今回借しくも入賞を逃した生徒諸君は、今度以上に練習に励み、実力向上に努めてください。上位入賞を目指し頑張ってください。

【第1種漢字・仮名】入選 【第2種漢字・仮名】秀作賞 【第2種漢字仮名交じり】秀作賞

①3年 千葉千愛美 ④3年 皆川 純也 ⑥2年 小野寺沙耶
②3年 千葉 麻依 ⑤3年 村上周太郎 ⑦2年 小野寺ふゆみ
③1年 千葉 茜 ⑧2年 佐藤 未玖
【第3種 篆刻】優秀賞 ⑨2年 菅原 絢音
⑩3年 皆川 純也

祝 第 39 回 岩手県高等学校総合文化祭「美術芸展」

- ・期 日：平成 28 年 11 月 12 日 (土)～15 日 (火)
- ・会 場：岩手県民会館 展示室
- ・入 賞：入選 3



「マキナ」菅原優斗 「お届け物でした」那須川めぐみ 「瞬間」鈴木千咲

祝 第 4 回 (平成 28 年度) 学生ファッションデザイン

- ・結 果：優秀賞 (作品名：「海を感じるドレス」)
- ・生 徒 名：生産技術科 2 年 渡邊 千尋 さん
- ・作品発表：2017/2/26「第4回北いわて学生デザインファッションショー」



一般社団法人北いわてアパレル産業振興会は、北いわてに集積している縫製業者のイメージアップと次代の地域産業を担う人材育成を図るため、学生によるファッションデザインを募集しました。応募総数は300点にもものぼり、平成28年10月3日(月)の審査委員会で優秀賞10点、奨励賞10点が決定しました。本校関係では、生産技術科2年渡邊千尋さんの「海を感じるドレス」が見事「優秀賞」に輝きました。おめでとう!! (優秀賞は2年連続)

なお、優秀賞作品については、北いわての縫製業者による作品制作が行われ、平成29年2月26日(日)に二戸市で開催予定の「第4回北いわて学生デザインファッションショー」において作品発表が行われます。渡邊さんのデザインがどのような作品として仕上がるかとても楽しみです。また、同日は、各賞の表彰とともに、優秀賞作品の中から選ばれる「最優秀賞作品」の発表も併せて行われる予定です。

1. 樹根賦 故付文風流雅雅海内知名代異時移出為東陽太守常
忽不樂願展風而歎日此樹婆婆生得意去至如白鹿自松青牛支料
根根盤晚山崖表裏杜何事而鎖三柯何為而半死昔之三河徒殖九斨
移根開花建柱之殿落葉安晴陽之國琴令嶺谷曲抱雲門將瑞鳳鳳比
翼葉驚風風亭而吹鶴對月峽而吟猿乃有春曲抽腫墮陽反覆態
影頰形如平鱗伸仰山登有指牙重;碎碎;真花珍珍披草樹錄始就
刺刷仍加平鱗伸仰山登有指牙重;碎碎;真花珍珍披草樹錄始就
實坐坐鳥莫不若理苗慶鳥到林官位無於霜露披披於風煙東海
有白木之廟西河有松赤之社北陸山楊葉為開南陸以梅根在蘇山

2. 飛蓬 / 香深 復心車 應許復置夜十二時

3. 歸王鳴鳳在樹

4. 風毛

5. 歸王鳴鳳在樹

6. 新詩

7. 風毛

8. 風毛

9. 鐘聲

10. 依集閣

第 75 回 一関・盛岡駅伝競走大会記録表 (千厩高校)

2:55'46" 10位 / 17チーム中 開催日: 2016/10/23 上段:区間成績 下段:累計成績

1区	2区	3区	4区	5区	6区
千葉 準也	金野 竜幸	三浦 大和	畑山 直輝	小島 拓	皆川 虎之介
(10) 29.10	(12) 30.48	(6) 26.15	(5) 24.20	(9) 24.56	(14) 40.17
	(11) 59.58	(9) 1.26.13	(9) 1.50.33	(10) 2.15.29	(10) 2.55.46

第4位までのタイム差は7分51秒です。盛岡市内一周継走大会において1年で6分8秒短縮した本校陸上部にとって不可能なタイムではありません。頑張れ陸上部!!

【編集後記】 岩手県立大学の鈴木厚人学長は、若い高校生や大学生の人才培养について

次のように話していましたので紹介します。(2016/11/11)

「今、直面している課題に全力を尽くして欲しいことです。これが将来、「自分にとって何のためになるのだろうか?」、「他にもっと、やるべきことがあるのではないか?」などと悩まず、課題に挑戦していただきたいのです。課題の大小、解決/未解決にかかわらず、努力した実績は一つの自信となり、次の課題に対する解決の源泉として、さらに、新たな可能性を呼び込みます。そして、これらの一つひとつの自信と達成感の蓄積は、自らの人より先んじて一歩前に踏み出す人間形成に重要であると確信しています。」